

脳 神 経 外 科 学

教 授	高 久 晃
助 教 授	遠 藤 俊 郎
講 師	岡 伸 夫
講 師	西 眞 美 知 春
助 手	平 島 豊
助 手	桑 山 直 也
助 手	栗 本 昌 紀 明
助 手	大 森 友 一
助 手	増 田 良 卓 也
文部技官	赤 井 山 八 州 男

◆ 著 書

- 1) 岡 伸夫, 中田潤一, 高久 晃: 水頭症における脳血管構築. 「水頭症における脳血管構築」松本 悟, 玉木紀彦編, 42-51, にゅーろん社, 東京, 1992.
- 2) 高久 晃, 岡 伸夫: モヤモヤ病を中心とした異常血管群. 「臨床小児脳神経外科学」松本 悟, 大井静雄編, 531-557, 医学書院, 東京, 1992.
- 3) Farooqui AA., Hirashima Y., and Horrocks LA.: Brain phospholipases and their role in signal transduction. In Neurobiology of Essential Fatty Acids. by Bazan NG et al (Eds.) Plenum Press, New York: 11-25, 1992.
- 4) 遠藤俊郎: 頭部中枢神経系疾患における初発症状とその鑑別診断. 「救急医療の臨床」龍村俊樹編, 205-208, 医薬ジャーナル社, 東京, 1992.
- 5) 遠藤俊郎: 頭部外傷. 「救急医療の臨床」龍村俊樹編, 205-208, 医薬ジャーナル社, 東京, 1992.
- 6) 西眞美知春, 高久 晃: 脳卒中. 「救急医療の臨床」龍村俊樹編, 205-208, 医薬ジャーナル社, 東京, 1992.

◆ 原 著

- 1) 栗本昌紀, 西眞美知春, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃, 二谷立介: 高齢者脳血管病変における3次元MR angiographyの有用性と限界. Geriatric Neurosurgery 4: 124-127, 1992.
- 2) 小原 進, 門間文行, 大山隆城, 鬼塚圭一郎, 大山和恵: 高齢者の頸椎症および靱帯骨化症の外科的治療. Geriatric Neurosurgery 4: 147-151, 1992.
- 3) 杉田京一, 森本文雄, 吉田昌弘, 高羽通康, 山谷和正, 園部 真, 高橋慎一郎: 高齢者破裂脳動脈瘤の長期予後. Geriatric Neurosurgery 4: 61-

- 64, 1992.
- 4) Nakada J., Oka N., Nagahori T., Endo S., and Takaku A: Changes in the cerebral vascular bed in experimental hydrocephalus. Acta Neurochir 114: 43-50, 1992.
- 5) 遠藤俊郎, 高久 晃: シェント非使用による頸部頸動脈血栓内膜切除術と脳虚血合併症—自験126例よりの検討—. 脳外誌 (Jpn J Neurosurg) 1: 35-40, 1992.
- 6) Kaji T., Akai T., Hayashi T., and Sakuragawa N.: Effect of thrombin on the production of glycosaminoglycans by cultured endothelial cells. Thrombosis Research 62: 509-517, 1991.
- 7) Nishijima M., Takaku A., Endo S., Kuwayama N., Koizumi F., Sato H., and Owada K.: Etiological evaluation of dural arteriovenous malformations of the lateral and sigmoid sinuses based on histopathological examinations. J Neurosurg 76: 600-606, 1992.
- 8) Kuwayama N., Endo S., Iwai R., and Takaku A.: Problems of intraarterial fibrinolysis in acute carotid occlusion -Pathological evaluation of thromboembolic occlusion-. Neuroradiology 33: 219, 1991.
- 9) 福田 修, 斎藤隆景, 美野善紀, 古市 晋, 中田潤一, 神山和世, 遠藤俊郎, 高久 晃: スキーによる頭部外傷379例の臨床的検討. 臨床スポーツ医 9 別冊: 328-329, 1992.
- 10) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大辻常男, 高久 晃, 唐沢健: 脳血管攣縮における血小板活性化因子の役割. 脳血管攣縮 7: 226-233, 1992.
- 11) Hirashima Y., Farooqui AA., Mills JS., and Horrocks LA.: Identification and purification of calcium-independent phospholipase A2 from bovine brain cytosol. J Neurochemistry 59: 708-714, 1992.
- 12) 遠藤俊郎, 扇一恒章, 西眞美知春, 岡 伸夫, 高久 晃: 頸部内頸動脈完全閉塞病変に対する閉塞部血行再建術—発症早期CEA施行7例の治療経験. 脳卒中の外科20: 329-333, 1992.
- 13) 西眞美知春, 野村耕章, 久保道也, 福田 修, 遠藤俊郎, 高久 晃, 堀江幸男: 虚血性脳血管障害に合併する無症候性脳動脈瘤に対する治療方針. 脳卒中の外科 20: 313-318, 1992.
- 14) 野村耕章, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 西眞美知春, 高久 晃: 頸部内頸動脈内膜血栓切除術80例の長期追跡結果の検討. 脳卒中 14: 375-381, 1992.
- 15) Yokozawa T., PD Zheng., Oura H., Hattori M.,

- Kuwayama N., and Takaku A.: Ompi-to relieves acidosis in rats given adenine. J. Medical & Pharmaceutical Society. Wakan-Yaku 9: 55-58, 1992.
- 16) 平島 豊, 遠藤俊郎, 加藤僚子, 大森友明, 高久 晃: 脳血管攣縮における髄液 PAF 濃度、PAF-acetylhydrolase の意義. 神経化学 31: 552-553, 1992.
 - 17) 高久 晃, 角家 暁, 山下純宏, 久保田紀彦, 山野清俊, 木谷隆一, 堀江幸男, 斎藤哲現, 長堀毅, 石倉 彰, 石黒修三, 羽場勝彦, 佐藤秀次, 加納昭彦, 船木 昇, 四十住伸一, 木下 昭, 能崎純一, 柏原謙吾, 土屋良武, 徳力康彦, 辻哲朗: 脳神経外科領域における新液状濃厚流動食サンエット-A の臨床的有用性の検討. Geriatric Medicine 30 (9): 1513-1528, 1992.
 - 18) 桑山直也, 久保道也, 西脇美知春, 高久 晃, 亀井哲也, 新谷光夫, 熊谷道朝: 頭頸部血管内手術における術者および患者の被曝線量. 第7回日本脳神経血管内手術研究会講演集, 45, 1991.
 - 19) 西脇美知春, 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃, 小泉富美朝: 後頭蓋窩硬膜動静脈奇型の組織学的検討と治療法についての考察. Surgery for cerebral stroke 20: 449-455, 1992.
 - 20) Nishijo H., Kuze S., Ono T., Tabuchi E., and Endo S., Kogure K.: Calcium entry blocker ameliorates ischemic neuronal damage in monkey hippocampus. Brain Res. Bull., 29: 519-524, 1992.
 - 21) Tabuchi E., Endo S., Ono T., Nishijo H., Kuze S., and Kogure K.: Hippocampal neuronal damage after transient forebrain ischemia in monkeys. Brain Res. Bull., 29: 685-690, 1992.
- ◆ 症例報告
- 1) 扇一恒章, 遠藤俊郎, 西脇美知春, 岡 伸夫, 高久 晃: 亜急性期血栓内膜切除術により血行再建に成功した頸部内頸動脈完全閉塞2症例. 脳卒中 13: 107-113, 1991.
 - 2) Ohya T., Ohara S., Monma F., Moto A., and Nakata Y.: Ossifying fibroma of the thorax columbar spine: a case report and review of the literature. Surgical Neurol 37: 231-235, 1992.
 - 3) 野上予人, 西脇美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃: 海綿静脈洞症候群と頭蓋骨腫瘍を呈した転移性悪性黒色腫の1例. 脳神経外科 20: 1017-1020, 1992.
 - 4) 栗本昌紀, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃, 斎藤哲現: 不幸な転帰をとった再発性単純ヘルペス脳炎の1例. 最新医学 47: 2386-2389, 1992.
- ◆ 総説
- 1) 高久 晃, 西脇美知春: 脳神経外科領域のめまいと対策. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 MOOK 21: 156-167, 1992.
 - 2) 西脇美知春, 高久 晃: 意識障害患者の観察ポイント. Brain Nursing 8: 19-23, 1992.
- ◆ 学会報告
- 1) 遠藤俊郎: 発症急性期に血栓溶解の後、CEAを行い良好の治療予後を得た頸部内頸動脈閉塞症の1例. 第8回白馬脳神経外科セミナー, 1992, 1, 白馬.
 - 2) Takaku A., Kuwayama N., and Oka N.: Etiological evaluation of dural arteriovenous malformations of lateral and sigmoid sinuses based on histologic examinations. French Society of Neurosurgery, 1992, 1, chamonix, France.
 - 3) Kuwayama N., Oka N., and Takaku A.: Evaluation of exposure doses in edovascular surgery. French Society of Neurosurgery, 1992, 1, chamonix, France.
 - 4) 栗本昌紀, 西脇美知春, 林 央周, 遠藤俊郎, 高久 晃, 二谷立介: 三次元MR angiographyにおける脳動脈の描出能改良への試み. 第15回日本脳神経CT研究会, 1992, 1, 広島.
 - 5) 長堀 毅, 西脇美知春, 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃, 美野善紀: めまい症例のdynamic CT. 第15回日本脳神経CT研究会, 1992, 1, 広島.
 - 6) 遠藤俊郎, 岡伸夫, 西脇美知春, 楠瀬睦郎, 高久 晃: Cryo surgical unitを用いた頭蓋内実質性血管腫瘍の手術. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992, 2, 札幌.
 - 7) 原田 淳, 塚本栄治, 西脇美知春, 高久 晃: 胸郭出口症候群に対する顕微鏡下前斜角筋切除術と各種補助検査法の有用性について. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992, 2, 札幌.
 - 8) 栗本昌紀, 西脇美知春, 美野善紀, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃: 高齢者髄膜腫の臨床的特徴と治療上の問題点. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992, 2, 東京.
 - 9) 平島 豊, 長堀 毅, 西脇美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 中川靖一: 慢性硬膜下血腫患者における血漿および血腫の脂質分析—血腫成長に関する血小板活性化因子PAFの役割—. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992, 2, 東京.
 - 10) 武田茂憲, 小原 進, 門間文行, 大山隆城: 高齢者頭部外傷手術例の検討. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992, 2, 東京.

- 11) 西嶋美知春, 高久 晃, 遠藤俊郎, 桑山直也, 小泉富美朝: 後頭蓋窩硬膜動静脈奇形の組織学的検討と治療法についての考察. 第21回日本脳卒中の外科研究会, 1992, 3, 名古屋.
- 12) 桑山直也, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 岡伸夫, 久保道也, 高久 晃: 海綿静脈洞硬膜動静脈瘻に対する治療法の選択—経静脈的塞栓か経静脈的塞栓か?—. 第21回日本脳卒中の外科研究会, 1992, 3, 名古屋.
- 13) 堀江幸男, 津村貢太郎, 朴木秀治, 遠藤俊郎, 高久 晃: t-PA動治療法併用による急性期CEAが有効であった頸部内頸動脈高度閉塞性病変の一例. 第21回日本脳卒中の外科研究会, 1992, 3, 名古屋.
- 14) 栗本昌紀, 西嶋美知春, 長堀 毅, 福田 修, 遠藤俊郎, 高久 晃, 堀江幸男: 前大脳動脈閉塞17症例の血行動態と閉塞機転についての検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992, 3, 名古屋.
- 15) 野村耕章, 西嶋美知春, 長堀 毅, 遠藤俊郎, 高久 晃: 両側性椎骨動脈閉塞症6例の臨床像についての検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992, 3, 名古屋.
- 16) 長堀 毅, 西嶋美知春, 岡 伸夫, 高久 晃, 野村耕章: めまい症例におけるdynamic CTの特徴と有用性. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992, 3, 名古屋.
- 17) 遠藤俊郎, 野村耕章, 桑山直也, 西嶋美知春, 高久 晃, 大辻常男, 文 正夫: 頭蓋内解離性動脈瘤4例における血管病理所見の検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992, 3, 名古屋.
- 18) 美野善紀, 古市 晋, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 山下富子: 発達遅延で発症した乳児多発性脳動静脈奇形の1例. 第35回日本脳神経外科学会中部地方会, 1992, 3, 津.
- 19) 池田宏明, 佐藤秀次, 佐々木 尚, 梅森 勉, 飯田隆昭, 田中 信, 北川義展: 第35回日本脳神経外科学会中部地方会, 1992, 3, 津.
- 20) 岡伸夫, 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃, 新居隆: 胎児中枢神経系奇形の診断と治療に関する問題. 第20回日本小児神経外科学研究会, 1992, 3, 鹿児島.
- 21) Hirashima Y., Nagahori T., Nishijima M., Endo S., Takaku A., and Nakagawa Y.: Analysis of plasma and Hematoma Lipids in Patients with Chronic Subdural Hematoma -The Role of PAF in the Development of Hematoma-. The 23th American Society for Neurochemistry Twenty-third annual meeting, 1992, 3, Houston, Texas.
- 22) 武田茂憲, 小原 進, 門間文行, 大山隆城: チタン製ロッド、ワイヤーを用いて固定した脊椎脱臼骨折の2症例. 第25回近畿脊髄外科研究会, 1992, 4, 大阪.
- 23) 楠瀬睦郎, 西嶋美知春, 山谷和正, 遠藤俊郎, 高久 晃: 実験的急性頭蓋内圧亢進の進行及び解除後における各種機能モニタリング. 第15回日本神経外傷研究会, 1992, 4, 新潟.
- 24) 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃: 改良型熱拡散センサーによる術後持続脳血流モニター. 第12回日本脳神経外科コンgres, 1992, 4, 新潟.
- 25) 高羽通康, 長堀 毅, 西嶋美知春, 高久 晃: 後頭蓋窩虚血性疾患におけるテント上Dynamic CT. 第36回日本脳神経外科学会中部地方会, 1992, 6, 金沢.
- 26) 久保道也, 朴木秀治, 堀江幸男, 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃: 超選択的線溶療法を施行した急性期脳主幹動脈閉塞症9例の検討. 第36回日本脳神経外科学会中部地方会, 1992, 6, 金沢.
- 27) 扇一恒章, 栗本昌紀, 神林智作, 遠藤俊郎, 高久 晃, 郭 隆琰: 前頭門蓋部に発生した骨軟骨腫の1症例. 第36回日本脳神経外科学会中部地方会, 1992, 6, 金沢.
- 28) 赤井卓也, 桑山直也, 遠藤俊郎, 古市 晋, 高久 晃: 治療に苦慮した耳下腺部外傷性動静脈瘤の一例. 北日本脳神経外科連合会. 第16回学術集会, 1992, 6, 旭川.
- 29) 桑山直也, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 岡 伸夫, 久保道也, 高久 晃: 海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻に対する経静脈的塞栓術6例の経験. 北日本脳神経外科連合会. 第16回学術集会, 1992, 6, 旭川.
- 30) 長堀 毅, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 野村耕章: めまいの治療におけるdynamic CTの有用性. 北日本脳神経外科連合会. 第16回学術集会, 1992, 6, 旭川.
- 31) 岡本宗司, 栗本昌紀, 遠藤俊郎, 高久 晃: 頭蓋内腫瘍に副腎腫瘍を合併した1例. 第7回北陸脳腫瘍懇話会, 1992, 6, 金沢.
- 32) 栗本昌紀, 岡 伸夫, 高久 晃: Chiari I 奇形を伴った脊髄空洞症の幼児の一治験例. 第7回日本脊髄外科研究会, 1992, 6, 札幌.
- 33) 長堀毅, 高羽通康, 西嶋美知春, 高久 晃: 脳血管障害のスクリーニング検査としてのdynamic CT—特にめまいを訴える症例への応用—. 第1回脳の人間ドック研究会, 1992, 6, 札幌.
- 34) 大森友明, 岡 伸夫, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃: 紡錘状脳底動脈瘤を合併したhemifaciol

- spasmの一例. 第15回日本顔面神経研究会, 1992, 7, 富山.
- 35) 林 央周, 遠藤俊郎, 高久 晃, 西条寿夫, 小野武年, 武者利光, 本間三郎: 三次元再構築大脳モデルを用いたサル第一次体性感覚野の体部位的機能局在. 第4回非侵襲脳機能局在研究会, 1992, 7, 東京.
 - 36) 水巻 康, 栗本昌紀, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃: 難聴にて発症した頭蓋骨Pagetの1例. 第19回北陸CT研究会, 1992, 7, 金沢.
 - 37) 美野善紀, 佐藤秀次, 佐々木 尚, 梅森 勉, 飯田隆明, 北川義展: 脳動脈瘤のMR アンジオグラフィ “脳血管撮影との比較”. 第19回北陸CT研究会, 1992, 7, 金沢.
 - 38) 野口 京, 中嶋愛子, 二谷立介, 森尻 実, 亀井哲也, 瀬戸 光, 柿下正雄, 栗本昌紀, 岡本宗司: 下垂体Malignant Lymphomaの1症例. 第19回北陸CT研究会, 1992, 7, 金沢.
 - 39) 田中 信, 小原 進, 門間文行, 大山隆城, 徳永隆成: 内頸動脈海綿静脈洞部巨大動脈瘤の1治療例. 第3回全国徳洲会病院脳神経外科医連絡会, 1992, 7, 八尾.
 - 40) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大森友明, 大辻常男, 西嶋美知春, 高久 晃: 脳血管攣縮における髄液中の血小板活性化因子(PAF)とPAF-アセチルハイドロレースの意義について. 第8回スパズムシンポジウム, 1992, 7, 京都.
 - 41) 平島 豊, 遠藤俊郎, 林 央周, 加藤僚子, 本敦文, 高久 晃, 塚本栄治: クモ膜下出血急性期患者の血小板数、血小板凝集能、血小板活性化因子、PAF-アセチルハイドロレース活性および抗リン脂質抗体の検討. 第8回スパズムシンポジウム, 1992, 7, 京都.
 - 42) 松村内久, 赤井卓也, 栗本昌紀, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久晃: Down症候群に合併したpineal germinomaの1例. 第30回北陸脳神経外科集談会, 1992, 9, 福井.
 - 43) 高畑 剛, 栗本昌紀, 鬼塚圭一郎, 遠藤俊郎, 高久 晃: 前頭蓋底fibrous dysplasiaの1例. 第30回北陸脳神経外科集談会, 1992, 9, 福井.
 - 44) 田中 信, 小原 進, 門間文行, 大山隆城: 失神発作を主訴とした頸椎症の検討. 第26回近畿脊髄外科研究会, 1992, 大阪.
 - 45) 門間文行, 小原進, 大山隆城, 田中 信: Tarsal tunnel syndromeの1例. 第26回近畿脊髄外科研究会, 1992, 大阪.
 - 46) 永井正一, 遠藤俊郎, 扇一恒章, 鬼塚圭一郎, 高久 晃: 広汎な末梢性脳神経症状を示した後頭蓋窩骨転移性腫瘍の一手術例. 第6回東海頭蓋底外科研究会, 1992, 9, 福井.
 - 47) Hirashima Y., Kato R., Ohmori T., Nagahori T., Nishijima M., Endo S., Takaku A., and Karasawa K.: The role of platelet-activating factor (PAF) in the development of chronic subdural hematoma. International Conference on Recent Advances in Neurotraumatology (ICRAN-1992), 1992, 9, Karuizawa.
 - 48) 栗本昌紀, 岡 伸夫, 高久 晃, 山谷和正, 塚本栄治: 上位頸椎奇形をともなった環軸椎脱臼の2手術例. 第9回中部脊髄外科ワークショップ, 1992, 9, 名古屋.
 - 49) Kuwayama N., Kubo M., Kambayashi C., Nishijima M., Endo S., and Takaku A.: Strategy for the dural carotid-cavernous fistula based on the comparison of result of 20 cases. The Second Korean and Japanese Friendship Conference on Surgery for Cerebral Stroke, 1992, 10, Tokyo.
 - 50) Nagahori T., Nishijima M., Endo S., and Takaku A.: Ischemic brain damage induced by intermittent short term occlusion of the carotid artery in normotensive rats. The Second Korean and Japanese Friendship Conference on Surgery for Cerebral Stroke, 1992, 10, Tokyo.
 - 51) Kurimoto M., Nishijima M., Oka N., Endo S., Takaku A., and Futatsuya R.: Three-dimensional time-of-flight magnetic resonance angiography for the evaluation of intracranial aneurysms. The Second Korean and Japanese Friendship Conference on Surgery for Cerebral Stroke. 1992, 10, Tokyo.
 - 52) 栗本昌紀, 堀江幸男, 西嶋美知春, 桑山直也, 扇一恒章, 高久 晃: 脳腫瘍患者における血漿PDGF (B鎖) 測定の意義. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 53) 栗本昌紀, 堀江幸男, 新井研治, 野上予人, 岡伸夫, 高久 晃: 複数のautocrine loop遮断によるヒト悪性グリオーマ細胞株(TM-1)の増殖制御. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 54) 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 野村耕章, 赤井卓也, 岡 伸夫, 高久 晃: 発症急性期頸部内頸動脈高度閉塞性病変の病態と血栓内膜t/p切除術の意義. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 55) 赤井卓也, 鍛冶利幸, 桜川信男, 遠藤俊郎, 高久 晃: 血管内皮の抗凝固効果に及ぼすトロニンBの作用-グリコサミノグリカンの合成能から-.

- 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
- 56) 長堀 毅, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 鬼塚圭一郎, 高久 晃, 岩崎祐三: 一時的血流遮断の反復により発生する脳虚血病変—ラット両側総頸動脈遮断モデルにおける実験的検討—. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 57) 門間文行, 小原 進, 大山隆城, 田中 信, 大山和恵: 高血圧性脳内出血再発例の検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 58) Endo S., Nishijima M., Oka N., Kato R., and Takaku A.: Clinicopathological study of critical carotid artery occlusive lesions associated with ischemic symptoms. 3rd international workshop on cerebrovascular surgery, 1992, 10, Tokyo.
 - 59) Nishijima M., Takaku A., Endo S., Kuwayama N., and Koizumi F.: Histopathologic examinations and management of dural arteriovenous malformations of the lateral and sigmoid sinuses. 3rd international workshop on cerebrovascular surgery, 1992, 10, Tokyo.
 - 60) 林 央周, 西条寿夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 小野武年: 双極子追跡法 (DT) および二次元脳電図によるサル体性感覚誘発電位 (SEP) の脳内発生源の解析. 第31回日本定位脳手術研究会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 61) 古市 晋, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 岡 伸夫, 桑山直也, 高久 晃: 内頸動脈後交通動脈分岐部血管膨隆病変の病態と未破裂動脈瘤の診断. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 62) 加藤僚子, 平島 豊, 西嶋美知春, 長堀 毅, 高久 晃, 唐沢 健: 蛍光抗体法による血小板活性化因子 (PAF) 染色の開発—慢性硬膜下血腫被膜への応用—. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 63) 平島 豊, 大森友明, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 唐沢 健: 血小板活性化因子 (PAF) の慢性硬膜下血腫増大への関与. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 64) 平島 豊, 遠藤俊郎, 林 央周, 加藤僚子, 本敦文, 高久 晃, 塚本栄治: クモ膜下出血急性期患者の血小板数、血小板凝集、血小板活性化因子および抗リン脂質抗体の検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 65) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大森友明, 大辻常男, 西嶋美知春, 高久 晃: クモ膜下出血後の脳血管攣縮における髄液中の血小板活性化因子 (PAF) と PAF アセチルハイドロレースの意義について. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 66) 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 桑山直也, 岡 伸夫, 高久 晃, 小泉富美朗: 横・S状静脈洞硬膜動静脈奇形に対する治療法についての考察. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 67) 桑山直也, 久保道也, 神林智作, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃: dural CCFに対する治療法の選択—過去20例の治療成績の比較検討より—. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 68) 桑山直也, 長堀 毅, 福田 修, 岩井良成, 遠藤俊郎, 高久 晃: 脳血管攣縮に対する経皮的血管形成術の問題点. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 69) 長堀 毅, 西嶋美知春, 野村耕章, 福田 修, 高久晃, 小関支郎: めまい症例におけるdynamic CTの診断価値. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 70) 西嶋美知春, 原田 淳, 山谷和正, 桑山直也, 高久 晃, 塚本栄治: 胸郭出口症候群に対する顕微鏡下手術と各種補助検査法の有用性について. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992, 10, 鹿児島.
 - 71) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大森友明, 大辻常男, 西嶋美知春, 高久 晃: クモ膜下出血後の脳血管攣縮における髄液中の PAF と PAF アセチルハイドロレースの意義について. 第4回日本脳循環代謝学会総会, 1992, 11, 名古屋.
 - 72) 平島 豊, 大森友明, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 唐沢 健, 野島庄七, 加藤僚子: 血小板活性化因子 (PAF) の慢性硬膜下血腫増大への関与. 第4回日本脳循環代謝学会総会, 1992, 11, 名古屋.
 - 73) 平島 豊, 遠藤俊郎, 林 央周, 加藤僚子, 本敦文, 高久 晃, 塚本栄治: クモ膜下出血急性期患者の血小板数、血小板凝集能、血小板活性化因子および抗リン脂質抗体の検討. 第4回日本脳循環代謝学会総会, 1992, 11, 名古屋.
 - 74) 栗本昌紀, 野上予人, 堀江幸男, 新井研治, 高久 晃: 複数のauto crime loop遮断によるヒト悪性グリオーマ細胞株 (TM-1) の増殖抑制. 第1回日本脳腫瘍カンファレンス, 1992, 11, 日光.
- ◆ その他
- 1) 遠藤俊郎: 頭痛と脳卒中. 金沢医師会「脳卒中談話会」, 1992, 2, 金沢.
 - 2) 高久 晃: 小児の脳腫瘍. 第10回青森小児血液・腫瘍研究会, 1992, 3, 青森.

- 3) 高久 晃：高齢者の脳神経外科。第21回高齢者福祉医療懇話会“富山”，1992，3，富山。
- 4) 高久 晃：硬膜動静脈奇形について。第3回全国徳洲会病院脳神経外科医連絡会，1992，7，八尾。
- 5) 高久 晃：Dural AVM. (特別講演)。第24回茨城県脳神経外科集談会，1992，7，水戸。
- 6) 遠藤俊郎：頸部頸動脈閉塞性病変の病態と外科治療。第8回血小板血栓研究会 (特別講演)，1992，9，福島。
- 7) 西篤美知春：脳神経外科領域におけるめまいと耳鳴。第98回日鼻富山県地方部会学術研修集団会，1992，10，富山。

整 形 外 科 学

教 授	辻 陽 雄
助 教 授	松 井 寿 夫
講 師	平 野 典 和
講 師	大 島 博
助 手	米 沢 孝 信
助 手	松 野 博 明
助 手	金 森 昌 彦
助 手	市 村 和 徳
助 手	北 川 秀 機
助 手	石 原 裕 和
助教授 (前)	加 藤 義 治
講師 (前)	高 野 治 雄

◆ 著 書

- 1) 辻 陽雄：整形外科系。「臨床内科医マニュアル」，184-196，医学書院，東京，1992。
- 2) 辻 陽雄 (編)：亀山，高久 (総編)：運動器疾患。「今日の診断指針」第3版，1238-1296，医学書院，東京，1992。
- 3) 辻 陽雄他 (編)：脊柱。9章，10章。「臨床整形外科全書」，金原出版，東京，1992。
- 4) 松井寿夫：四肢悪性骨腫瘍。「今日の診断指針」第3版，1241-1245，医学書院，東京，1992。
- 5) 松井寿夫：脊椎腫瘍。「臨床整形外科手術全書」第9巻，229-269，金原出版，東京，1992。
- 6) 松井寿夫，辻 陽雄：腰椎疾患多数回手術例の病態と対処。OS NOW No. 7「脊柱・骨盤の手術合併症と対策」，146-155，メジカルビュー社，東京，1992。

◆ 原 著

- 1) Matsui H., Tsuji H., Sekido H., Hirano N.,

Katoh Y., and Makiyama N.: Results of expansive laminoplasty for lumbar spinal stenosis in active manual workers. Spine 17: s37-40, 1992.

- 2) Matsui H., Terahata N., Tsuji H., Hirano N., and Naruse Y.: Familial basis for juvenile lumbar disc herniation. Spine 17: 1323-1328, 1992.
- 3) Matsui H., Olmarker K., Cornefjord M., Takahashi K., and Rydevik B.: Local electrophysiologic stimulation in experimental double level cauda equina compression. Spine 17: 1075-1078, 1992.
- 4) Ohshima H., and Urban J.P.G.: The effect of lactate and ph on proteoglycan and protein synthesis rates in the intervertebral disc. Spine 17: 1079-1082, 1992.
- 5) Matsuno H., Matsushita I., Kadowaki K.M., Tsuji H., Ochiai H., Nakano T., and Funahashi K.: Effects of lobenzarit disodium on lymphocyte subsets related to the onset of collagen-induced arthritis. Int. J. Immunothr. 8: 67-75, 1992.
- 6) Ishihara H., Tsuji H., Hirano N., Ohshima H., and Terahata N.: Effects of continuous quantitative vibration on rheologic and biological behaviors of the intervertebral disc. Spine 17: s7-12, 1992.
- 7) Tsuji H., Hirano N., Ohshima H., Matsui H., Ishihara H., and Imada K.: Extraperitoneal antero-lateral discectomy for lumbar disc herniation: Indications, techniques, and time-related clinical results. J. Spin. Dis. 5: 424-432, 1992.
- 8) 辻 陽雄：正常椎間板線維輪の構造的特徴。脊椎脊髄ジャーナル 5: 725-728, 1992。
- 9) 松井寿夫，米沢孝信，遊道和雄，辻 陽雄，伊藤達雄：脊柱管狭窄を合併する頸椎椎間板ヘルニアに対する前後合併手術。整形外科 43: 449-455, 1992。
- 10) 松井寿夫：脊椎分離症の診断と治療の選択。骨・関節・靱帯 5: 307-314, 1992。
- 11) 平野典和，大島 博，市村和徳，山上 亨，長田龍介：MRI矢状面斜位撮像による腰部神経管の画像解剖。脊椎脊髄ジャーナル 5: 979-989, 1992。
- 12) 大島 博，加藤義治，平野典和，寺畑信男，辻